



SET 動画でノウハウ共有 高校生の英語力向上へ 発達障がい者の就労支援 しごとフィールドで検討

—加治木府議の
9月定例会質問より

加治木一彦府議は10月9日の府議会本会議で高校での英語教育などについて一般質問をしました。また、10月14日の商工労働常任委員会で発達障がい者の就業支援などを質疑しました。概要は以下の通りです。

一般質問より

府は高校卒業時に英語圏の大学に進学できる水準の英語力を生徒が習得することを目指し、教員免許の教員免許の有無にかかわらず英語力の高い「スーパーイングリッシュティーチャー（SET）」を今年度から任期付きで採用しています。

私は2つの高校でSETの授業を見学し、レベルの高さを実感してきました。今後、府教育センターのホームページでSETの授業を動画配信するなど高校生の英語力向上に向け、ノウハウの共有を進めるとのことです。

このほか、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産認定、北陸新幹線の大阪延伸、新大阪と大阪の一体化など計7項目について取り上げました。



商工労働常任委員会の質疑より

発達障がい者の就業支援について、OSAKAしごとフィールドを訪れた人たちの事例をもとに、有効な手法を検討する、とのこと。発達障がいの特性を理解してもらうことで、本人や家族、その人を雇う企業の満足度の向上を目指します。

このほか、首都圏の優秀な人材と大阪の中小企業を結び付けるおおさかUIターン促進事業など計6項目を質疑しました。

活動日誌より

7月 秋田県仙北市、大仙市

9,10 仙北市は話題の無人飛行機「ドローン」を使った実験ができる特区認定に向けた取り組みを進めています。大仙市立四ツ屋小学校で習熟度別や学年をまたいだ授業を視察しました。



8月 9月 仙台市

31 1 東北大学で金属材料研究などの最先端に触れ、仙台フィンランド健康福祉センター事業創成国際館で福祉先進国フィンランドの企業による介護・福祉機器やサービスなどを体験しました。



10月 吹田市

20 万博記念公園内に完成した市立吹田サッカースタジアムは来シーズンからガンバ大阪のホームグラウンドになります。熱戦を期待しています。



11月 大阪市住吉区

24 創立から100年以上の歴史がある府立視覚支援学校は校舎を新築したばかりです。生徒が自立できるよう、授業を通し様々な資格取得に向けた支援などについて伺いました。

